

三重工場CSRレポート

生産品目: トラック・バス用、ライトトラック用、乗用車用タイヤ
敷地面積: 264,000m²
従業員数: 943人(2009年6月現在)
所在地: 〒516-8530 三重県伊勢市御園町高向1038番
 TEL 0596(28)3151



工場長ご挨拶



持永 義登

三重工場では2008年5月に実施した「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの第1期植樹祭に引き続き、2009年6月に第2期植樹会を実施しました。現場の改善として進めている自前の保温活動は保温材取付けが1万5千枚に達し、CO₂削減・省エネ・防火防災に大きな役割を果たしています。さらに生産過程で発生する産業廃棄物の総量を3年間で1/10以下に削減したうえ、ムダ取り活動であらゆる資源使用量を大幅に削減した結果、ゼロエミッションを継続しています。また、地域の皆さまとの共生を目指して環境懇談会を年2回開催し、住み良い環境へレベルアップするために具体的な行動を行う事でお互いの歩み寄りが確かなものになってきています。地域の環境改善活動としては、工場周辺と河川の清掃活動、伊勢湾の植樹、駅前での緑の募金、干潟の果敢活動などを推し進めています。今後も環境貢献企業として、従業員

が一丸となって神都・伊勢の環境を守り続ける牽引役になりたいと思います。

2009年度環境方針

経営方針に示された「社会に対する公平さと環境との調和を大切にすることを規範として、トップレベルの環境貢献事業所になる。」

- (1) 三重工場は、全ての活動分野で環境へ配慮した施策に取り組む。
- (2) 信頼される工場となるために環境マネジメントシステムを強化し、環境汚染の予防と環境改善を継続的に進める。
- (3) 資源保護のための省エネルギー、廃棄物の低減およびリサイクルの推進を図る。
- (4) 関連する法規制および協定などを順守し、環境保全に取り組む。
- (5) 環境方針を具現化するため環境目的・目標を設定し、計画的に実行する。
また、環境目的・目標および計画は、定期的に見直しを行う。
- (6) 全従業員が、本方針を理解し、行動するよう教育と啓蒙を行い周知を図る。
- (7) 神都、伊勢の自然と調和・融合と地域との共生を目指す。
- (8) 本方針は、一般の人からの要求に応じ公表する。

主な地域との交流活動

勢田川七夕大清掃に参加

毎年7月に伊勢市が主催する勢田川清掃活動に、2008年は250名の従業員がボランティアで参加しました。

環境懇談会の開催

2008年6月と11月に、伊勢市議会議員や行政関係者、工場周辺自治会の代表の方々など合計44名をお招きし、環境懇談会を開催しました。

緑の募金への参加

2008年5月に(社)三重県緑化推進協会の「緑の募金」に協力し、従業員23名が宇治山田駅、伊勢市駅で街頭募金活動を行いました。



勢田川周辺を清掃する従業員



環境懇談会の様子



街頭募金を行う従業員

環境リスク訓練

油回収訓練

2008年3月と8月に実施し、従業員延べ69名が参加しました。

伊勢市消防本部との合同防災訓練

2009年7月、当工場の自衛消防隊70名と伊勢市の消防署隊員20名合同で、「震度6強の地震でゴムリサイクル作業場から出火および建物が崩壊してけが人が出た」という想定の下、防災訓練を実施しました。



放水を行う工場の自衛消防隊



消防隊員から救命指導を受ける自衛消防隊

「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトとは、横浜ゴムが創業100周年を迎える2017年までに、国内外の全生産拠点に合計約50万本の植樹を行い「杜」を作るプロジェクトです。2007年11月の平塚製造所での植樹祭を皮切りに本格的にスタートしました。

- 2008年5月：第1期植樹祭(800名参加、5,500本植樹)
- 2009年6月：第2期植樹会(500名参加、3,800本植樹)



環境データ

PRTR対象物質

(単位:トン/年)

政令番号	対象化学物質	取扱量 ^{※1}	排出量 ^{※2}	移動量 ^{※3}	安全性影響度評価 VI-2			
					有害性ランク(人)	年間換算排出量(人)	有害性ランク(生態)	年間換算排出量(生態)
282	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	560	0	3.7	D	0	A	0
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	100	0	1.4	D	0	A	0
100	コバルト及びその化合物	28	0	0.31	A	0	—	0
63	キシレン	9.3	1.1	0	C	11	A	1100
227	トルエン	1.7	2.0	0	C	20	D	2.0
40	エチルベンゼン	1.9	0.32	0	C	3	A	320
253	ヒドラジン	1.7	0.001	0	A	1	A	1
310	ホルムアルデヒド	1.6	0	0	A	0	C	0
299	ベンゼン	1.0	0.001	0	A	1	D	0.001
179	ダイオキシン類	—	(0.026)	—	A	—	—	—
	総合計	705	3.4	5.4		36		1423

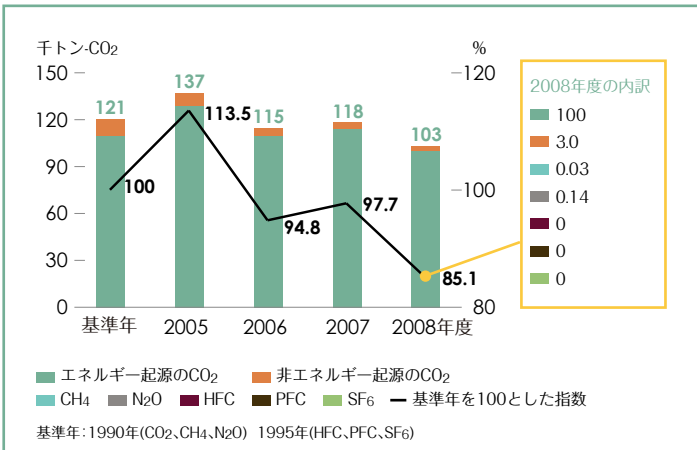
- 1:取扱量は1トン以上を記載(ダイオキシン類を除く) ただし、ベンゼン等の特定第1種指定化学物質は0.5トン以上を記載
2:排出量=大気+公共用水域+土壌
3:移動量=廃棄物+公共下水道

大気関係測定データ(主要施設)

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2008年度実績		
				平均値	最大値	最小値
三重工場 1号コージェネレーション	硫酸酸化物排出量(m ³ N/h)	3.4	0.1	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	窒素酸化物濃度(ppm)	100	90	47	68	20
三重工場 2号コージェネレーション	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.05	0.05	0.001未満	0.002未満	0.001未満
	硫酸酸化物排出量(m ³ N/h)	3.4	0.1	0.1未満	0.1未満	0.1未満
三重工場 3号ボイラー	窒素酸化物濃度(ppm)	100	90	56	83	15
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.05	0.05	0.003	0.003	0.001未満
三重工場 4号ボイラー	硫酸酸化物排出量(m ³ N/h)	1.0	0.1	設備休止に伴い、測定なし		
	窒素酸化物濃度(ppm)	130	120	設備休止に伴い、測定なし		
三重工場 1号乾燥炉	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0.05	設備休止に伴い、測定なし		
	硫酸酸化物排出量(m ³ N/h)	1.5	0.1	0.1未満	0.1未満	0.1未満
三重工場 2号乾燥炉	窒素酸化物濃度(ppm)	130	120	89	89	89
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0.05	0.001未満	0.001未満	0.001未満
三重工場 焼却炉	硫酸酸化物排出量(m ³ N/h)	3	2008年12月設備停止したので自主管理値に設定していない	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	窒素酸化物濃度(ppm)	250	250	24	42	10
三重工場 焼却炉	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0.1	0.002	0.003	0.001未満
	硫酸酸化物排出量(m ³ N/h)	6.2	5	0.1未満	0.1未満	0.1未満
三重工場 焼却炉	窒素酸化物濃度(ppm)	250	125	18	25	10
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.3	0.15	0.002	0.004	0.001未満
三重工場 焼却炉	硫酸酸化物排出量(m ³ N/h)	6.2	5	3.0	5.1	0.8
	窒素酸化物濃度(ppm)	250	125	71	77	59
三重工場 焼却炉	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.3	0.15	0.005	0.014	0.001未満

※大気汚染防止法、伊勢市公害防止協定に準拠。2008年度も違反なし
※自主設定した管理値を外れた場合は、その原因を明確化し速やかに通常域に戻す対策を講じます

温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数



水質関係測定データ(主要排水)

排水口	項目	規制値	自主管理値	2008年度実績		
				平均値	最大値	最小値
三重工場 No.1排水	PH	6.0~8.0	6.5~7.7	7.5	8.2	7.0
	BOD濃度(mg/l)	20	10	2.2	8.6	0.8
	COD濃度(mg/l)	20	10	1.8	2.9	1.1
	SS濃度(mg/l)	40	20	1.3	2.0	1未満
	油分濃度(mg/l)	2	1.6	0.5未満	0.5未満	0.5未満
三重工場 No.2排水	PH	6.0~8.0	6.5~7.7	7.5	7.7	7.2
	BOD濃度(mg/l)	20	10	1.3	1.5	0.9
	COD濃度(mg/l)	20	10	1.6	2.4	1.2
	SS濃度(mg/l)	40	20	1.4	3.0	1未満
	油分濃度(mg/l)	2	1.6	0.7	0.8	0.5未満

※2008年度は、三重工場No.1排水で8月5日の定期水質測定において、伊勢市公害防止協定値を超過しました。伊勢市に連絡と同時に原因を解明し対策を実施した結果、直ちに復旧いたしました。
※自主設定した管理値を外れた場合は、その原因を明確化し速やかに通常域に戻す対策を講じます

廃棄物発生量と埋立量、再資源化率

